

資格スクエア弁理士講座 林 哲彦講師が書籍デビュー
「一番やさしい」知財検定 3 級対策テキスト
SB クリエイティブから 8 月 1 日発売

EdTech カンパニーの株式会社レアジョブ（以下、レアジョブ）は、オンライン予備校「資格スクエア」において弁理士講座の講師を務める林 哲彦講師が、著書である『最短合格 知的財産管理技能検定® 3 級』（SB クリエイティブ）を 8 月 1 日に出版することをお知らせいたします。本件において「資格スクエア」は監修に携わるなど全面協力いたしました。

資格スクエア

豊富な図解 × ミニテストで
やさしく
知財検定 3 級合格！

林 哲彦講師 著
資格スクエア弁理士チーム 監修

■『最短合格 知的財産管理技能検定(R) 3 級』について

本書では「特許法・著作権法・各種法律がよくわかる一番やさしいテキスト」をキャッチコピーに、イメージを掴みやすい豊富な図解とミニテストで、知的財産管理技能検定® 3 級合格に必要な知識を分かりやすく、効率的に身につけることが可能です。

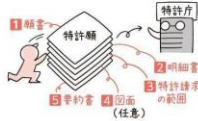
出版に際し、レアジョブは「資格スクエア弁理士チーム」として全面的な監修を担当したほか、Amazon からのダウンロード特典として撮りおろしの講義動画を提供しています。

06

特許出願の書類の作り方 ～出願は電話じゃできない～

重要度★★★

特許権を取得したい範囲の特許
庁に明確に伝えるため、特許出願
をするときには発明の内容を記載
した書類を提出する必要があります。
具体的には、特許出願の書類
に、①明細書、②特許請求の範
囲、③必要図面、④要約書を添
付して提出します。



① 表紙代わりの願書

願書は、特許権を請求する意思を特許庁に
表示する書類です。
願書には、特許出願をする人（出願人）の
氏名や住所、発明者の氏名や住所等を記載し
ます。



② 発明を説明する明細書

明細書は、①発明の名称や②発明の詳細な
説明、③図面の簡単な説明が記載された書類
です。つまり、明細書は、特許権を取得し
たい発明の全体像を文章で記載した書類です。
明細書に記載した発明の内容は、特許出願
から1年6か月後に公開されます（出願公開
といいます）。
この公開をする代わりに、明細書に記載し
た発明について、特許権という独占権を
取得するチャンスが与えられるわけです。



32

特許法は、公開した発明を利用してさらに優れた発明をしてみようことで技術
を進歩させようとするものです。そのため、明細書は、その発明の属する技術の
分野における通常の知識を有する者が実施できる程度に、明確かつ十分に記載
する必要があります。つまり、その発明を再現できるように記載してね、というこ
とです。再現できない発明を公開しても、誰も利用できないので技術が進歩しな
いからです。

ここで発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者とは、簡単にい
うと、その技術分野で発明者になれるくらい詳しい専門家のことです。知財業界
では、この人のことを当業者といったりします。

③ 欲しい権利範囲を記載する特許請求の範囲

特許請求の範囲は、権利範囲を記載した
書類です。特許請求の範囲に記載された発
明に独占権が発生します。
特許請求の範囲には、公開する範囲、つ
まり明細書から特許権を取得したい発明を
抽出し、明確かつ簡潔に記載します。
また、特許請求の範囲には、技術的に関
連する複数の発明を記載することができま
す。記載されたそれぞれの発明を請求項と
いいます。



④ 図面もつけるとわかりやすい

図面は、明細書に記載された発明の理解
を助けるための書類です。
発明の内容を視覚的に理解できるよう提
出されることがほとんどですが、図面の提
出は、必須ではありません。



⑤ 他人の調査に役立つ要約書

要約書は、発明の内容を簡単にまとめた書類です。主に特許情報の検索に用い
られるもので、権利内容に影響するものではありません。

33

豊富な図解とイラストで、イメージ先行で分かりやすく学べるのが本書の特長

■書籍概要

著者：林 哲彦

（資格スクエア弁理士講座/知的財産管理技能検定®講座 講師）

監修：資格スクエア弁理士チーム

イラスト：イシクラユカ

出版：SB クリエイティブ

本書の詳細：<https://www.sbcr.jp/product/4815625412/>



*知的財産管理技能検定®は、一般財団法人知的財産研究教育財団の登録商標です

【株式会社レアジョブについて】

所在地：東京都渋谷区神宮前 6-27-8 京セラ原宿ビル 2F

代表者：代表取締役社長 中村 岳

URL：<https://www.rarejob.co.jp/>

事業内容：英語関連事業／資格取得支援事業／子ども・子育て支援事業

上場取引所：東京証券取引所スタンダード市場

【レアジョブグループの事業展開について】

EdTech カンパニーのレアジョブグループは、グループビジョン“Chances for everyone, everywhere.”に基づき「世界中の人々が、それぞれの能力を発揮し、活躍できる世の中の実現」を目指しています。オンライン英会話をはじめ、AI ビジネス英語スピーキングテスト「PROGOS®」などアセスメントを軸とし、個人・法人・教育機関などを対象に事業を展開。また、英語だけでなくグローバルリーダーに必要な評価・育成・採用など人材関連サービスや、資格取得を支援するサービス、K12 領域における子ども子育て支援サービスも幅広く提供。今後も、国内のみならずグローバルな事業展開を推進してまいります。

【提供サービス】

◆英語関連サービス

ーオンライン英会話サービス

- ・ [オンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」](#)
- ・ [オンライン完結成果保証型英会話プログラム「スマートメソッド®コース」](#)

ーアセスメントサービス（英語力測定）

- ・ [ビジネス英語スピーキングテスト「PROGOS®」](#)
- ・ [英語スピーキング力診断アプリ「PROGOS®」](#)

ー法人向け人材育成関連サービス

- ・ [グローバルビジネススキル習得プログラム「グローバルスキル Power トレーニング」](#)
- ・ [法人向けグローバルリーダー育成研修サービス](#)

◆資格取得支援サービス

- ・ [オンライン予備校「資格スクエア」](#)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社レアジョブ 広報 荒川

メール：press@rarejob.co.jp